



インターンシップで後輩の学生が企画・実施 宮本輝作品の舞台を巡る文学ツアーを開催

追手門学院大学(大阪府茨木市、学長：川原俊明)の卒業生で芥川賞作家の宮本輝氏のデビュー作「泥の河」の舞台となった大阪・中之島を巡るツアーを9月23日に開催します。

このツアーは、宮本輝氏の住む兵庫県伊丹市の市立図書館でインターンシップを行っている追手門学院大学の学生3名が、先輩にあたる宮本輝氏の文学の魅力を広く知ってもらおうと企画したものです。当日は公募で集まった参加者を大阪・中之島へと案内し、土佐堀川にかかる湊橋南詰にある「泥の河」の文学碑を見学したり、小説に登場する「ポンポン船」を運航する汽船会社を経営し、宮本輝氏の幼なじみで本学卒業生でもある一本松伸氏より提供を受けた写真や少年時代のエピソードを紹介したりするなど、本学学生ならではのガイドツアーになる見込みです。



昨年は「青が散る」の舞台の追手門学院大学でツアーを実施。右端の2名が本学学生。

【ポイント】

- 追手門学院大学の学生が先輩である宮本輝氏の文学作品にちなんだガイドツアーを開催
- 宮本輝氏の住む伊丹市の市立図書館でのインターンシップの一環として学生が企画
- 「泥の河」の舞台である中之島を散策。本学卒業生協力の下、とっておきエピソードも披露

【ツアー概要】

日 時：2017年9月23日（土）15時 京阪電車中之島駅スタート

コース：中之島西端の土佐堀川にかかる湊橋南詰にある「泥の河」文学碑等、周辺を散策

企画・ガイド：追手門学院大学生3名(1年生2名、3年生1名)

参加予定者：20名（伊丹市立図書館で先着順に受付）

この資料の配付先：大阪科学・大学記者クラブ、北摂記者クラブ等

【発行元】

追手門学院 広報課 TEL：072-641-9590 谷ノ内・足立